

小委員会事業①

■ 農業事業者との連携

＜実施済み＞

【目的】

- ・ 釧路湿原で行っている自然再生事業では集水域全体でどのように保全、再生を進めていくか考えることが重要であるため、湿原周辺の土地利用者である農業事業者とのつながりを形成する。

地域づくり小委員会



つながる

【小委員会として行うこと】

- ・ 農業事業者にヒアリングを行い、**農業事業者の環境保全の取り組みを把握する。**
- ・ 釧路湿原の自然再生に関わる農業事業者の取り組みを**ニュースレター等で情報発信**する。

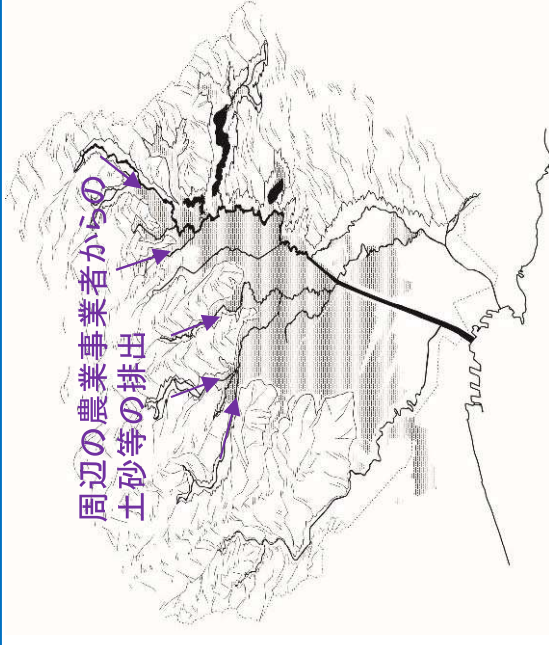
農業事業者



- ・ その結果、農業事業者が行う取り組み内容の認知度が向上することで、**生産物への付加価値向上を図るとともに、農業や釧路湿原に興味を持った人のすそ野を広げる。**



農業事業者が行う取り組みの更なる強化に繋がる可能性がある



小委員会事案①

■ 農業事業者との連携 <実施済み>

- ・ 鉦路湿原周辺の農業事業者へのヒアリングを令和3年度から実施している。
- ・ 昨年度までに標茶町、鉦路市の農業事業者を対象に実施し、今年度は鶴居村で実施した。

【今年度の実施概要】 R05 株式会社伊藤デイリー

実施日：2023年（令和5年）10月4日

対象者：株式会社伊藤デイリー（伊藤純一氏）



【ヒアリング結果】

- ・ （伊藤デイリーさんではバイオガス発電施設を所有）これにより自社で発生した糞尿・汚水は外に排出せず、自社内で処理ができていく。
- ・ 糞尿処理能力に応じて飼育頭数で運営している。
- ・ 湿原から整備した農地は、地盤沈下や洪水で浸水したり維持管理に苦勞する。
- ・ 昔と比べて酪農家は減っており、未利用地は農家と意見交換をしたうえで再湿地化をしていくにはいいタイミングだと思う。

〇参考

① R03 標茶西地区農地・水保全隊

実施日：2022年（令和4年）1月27日

対象者：佐久間三男さん（地域づくり小委員会委員）、櫻井一隆さん（同）、平間清さん（同）、木元さん（標茶町農林課）、日野さん



② R04 JA阿寒青年部

実施日：2022年（令和4年）11月17日

ヒアリング対象者：JA阿寒青年部（浅野達彦氏）

小委員会事案②

■ 自然再生箇所への利活用推進 <取組中>

・ 自然再生箇所の現状

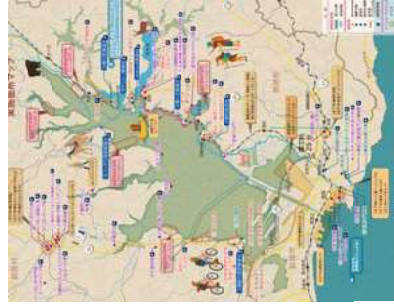
- ① 視察等の訪問先になっているが、十分に活用されているとは言いがたい。
- ② 事業実施箇所が増えて、特徴（事業内容や周辺の景観等）の違う自然再生事業箇所を一連で利活用が可能になってきた。

・ 利活用を推進するための取組

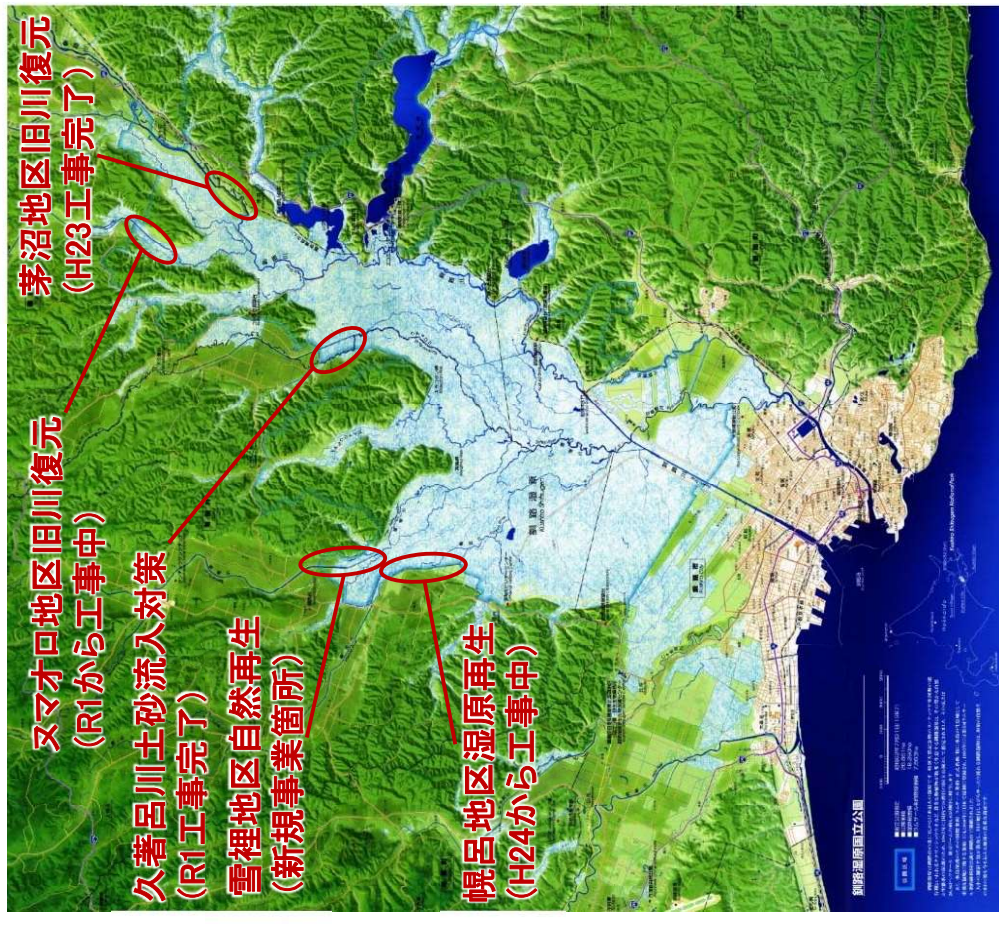
自然再生箇所が地域にも根付いたものとするために自治体と連携して利活用を推進する。



- ・ 自治体と一緒に自然再生箇所の現地視察や意見交換を行うことで、自然再生箇所を地域で利活用できるようにする。(R4～)
- ・ 自然再生箇所を一連で利活用が出来るように各事業箇所や観光施設が分かる広域のマップを検討する。(R5)



← 過去の小委員会でご意見を頂いた
釧路湿原の観光施設等を
広域のマップに反映する。



小委員会事案②

■ 自然再生箇所の利用推進 <取組中>

【対象自治体】

- ・ 自然再生事業が多く行われている「標茶町」
「鶴居村」から利用用について協議を実施

【標茶町：ヌマオロ地区】

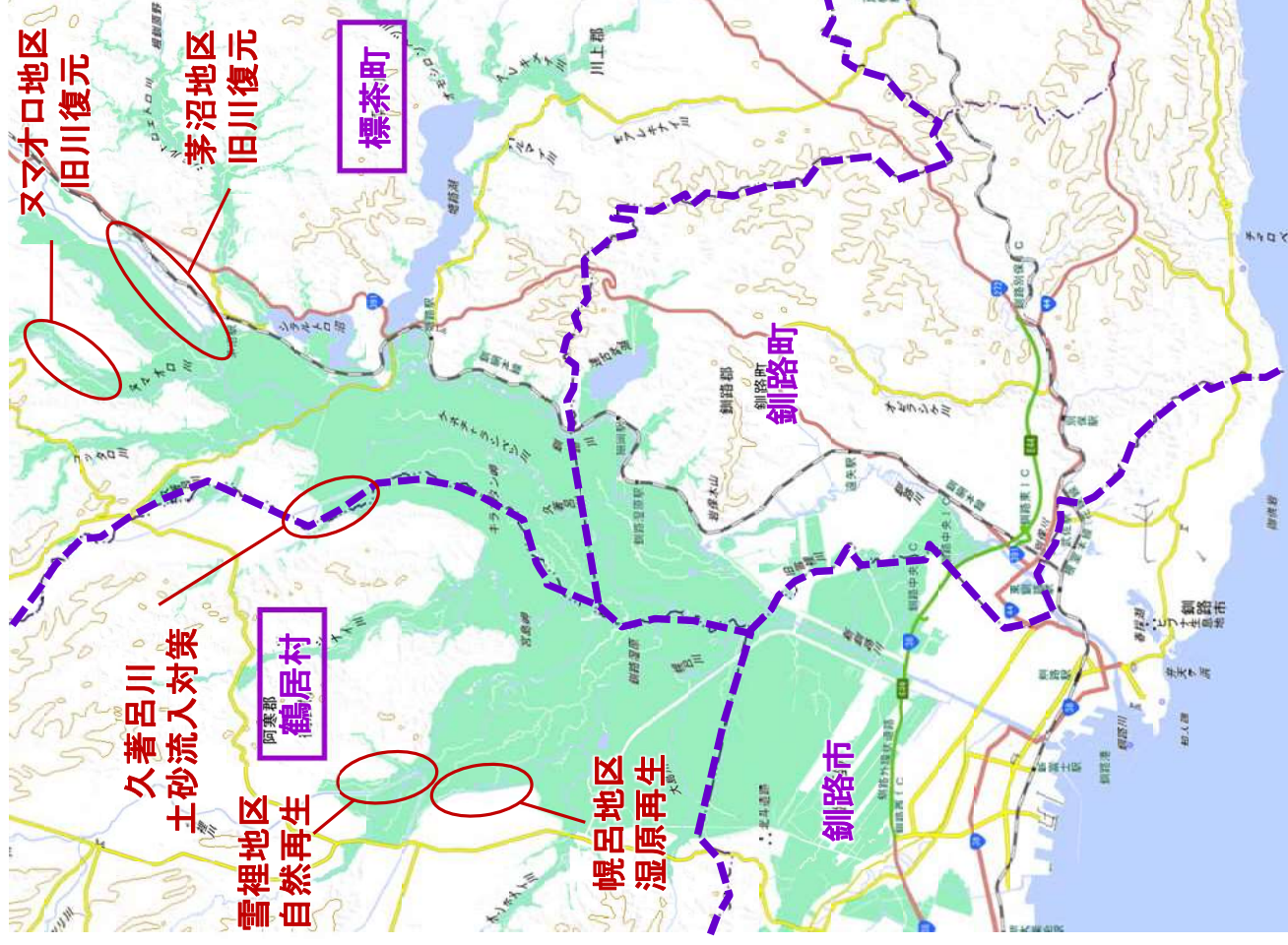
- ・ これから工事が進み整備が進んでいく段階である「ヌマオロ地区」で現地視察や意見交換を実施する。

【鶴居村：幌呂地区】

- ・ 未利用農地の地盤切り下げによる湿原再生が進められており、良好な環境が形成されつつある「幌呂地区」で意見交換を実施する。

【今年度の取り組み概要】

- ・ 標茶町：
ヌマオロ地区の現地視察と意見交換会を実施
- ・ 鶴居村：
幌呂地区の利用方法（利用のための整備等）について意見交換を実施



小委員会事業②

■ 自然再生箇所 の 利活用 推進 <取組中>

① 標茶町：ヌマオロ地区

・ 意見交換会

実施日：令和5年10月20日

参加者：河村氏、菊池氏（標茶町財政課）、
炭田氏（標茶町地域おこし協力隊）

・ 現地視察

実施日：令和5年11月22日

参加者：菊池（標茶町建設課）、菊池（標茶町財政課）、
炭田氏、伊藤氏（標茶町地域おこし協力隊）

【今年度の目的】

昨年度に引き続き現地視察・意見交換を行うことで、ヌマオロ地区の利活用について標茶町で取り組みテーマとして定着化してもらおうとともに、地域おこし協力隊の方も交えた新たな視点での利活用方法を議論した。

【意見交換会・現地視察の結果】

- ・ ヌマオロ地区は秘境要素がある。あえて行きづらい場所を求める観光客もいる。
- ・ 町民もターゲットにして、自然再生事業をすることでカーボンニュートラルにつながることを理解してもらえると、**標茶町のゼロカーボンの取組もより効果的に進められる**かもしれない。
- ・ クマが出没する可能性があることについて、例えば茅沼温泉でレクチャーを受けからでないと立入ることができないようにする、といった方法がある。
- ・ 旧川復元により魚類が増えることで、**自由研究や環境教育の場**としても使えると思う。
- ・ **釧路湿原の歴史をセットにする**とより興味がわく。



▲ 事業概要について説明



▲ 旧川沿いを歩いて視察



▲ R4施工済み旧川箇所 の 視察